

小学1年 生活科 なつが やってきた 「みずで あそぼう」

ねらい

夏の自然を生かして遊びたいという思いをもち、自分のおもちゃの動きや遊び方を想像しながら、身近なものを利用して、遊びを創り出す面白さに気付いたり楽しんだりすることができる。

学習展開（8時間）

- ① これまでの水を使った遊びの経験を伝え合い、水を使った夏の遊びについて話し合う。
- ② 全員が同じ細さのストローでシャボン玉遊びをする。
- ③ 「もっと～したい」という思いや願いを生かし、自分がやってみたい水を使った遊びに使うものを、図書資料を活用して調べ、道具を作る。
- ④ 自分が作った道具で、水を使った遊びを楽しむ。
- ⑤ 気付いたことを話したり、カードに書いたりして、振り返りを行う。

オクリンクで提示



タブレットの活用



掲示



指導のポイント

- ・教科書に載っている遊び以外にも、本に載っている遊びを紹介することで、一人一人の子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら学習を進めることができた。
- ・本の冊数に限りがあり、クラス全員が一斉に本を見ることが難しかった。そこで、オクリンクを活用し、参考となる本のページの画像を取り込むことで、一人一人がタブレットを使って見る事ができた。

学校図書館との関わり

- ・子どもたちが「作ってみたい」「自分で作ることができそうだ」と思う水遊びの道具が載っている本を用意した。
- ・学校司書も授業に入り、作りたい遊び道具が決まらない児童に声掛けをしたり、読むことが困難な児童に書かれている内容を一緒に読んであげたりした。